

2019年度からのコーチライセンス制度改定のご案内



コーチライセンス制度改定の趣旨

コーチライセンス制度は、コーチライセンスを取得することによって、コーチに必要な知識・能力等を身に付け、プレーヤーにとって安心、安全な環境を構築すること、また、バスケットボールをはじめとしたスポーツの楽しさを広げていくこと、さらには人間力・競技力の向上に寄与することを目的としています。

より多くのプレーヤーがバスケットボールを通じて楽しさを感じ、また、人間として、プレーヤーとして成長できるような環境を作るためには、コーチ自身が人間力を高め、プレーヤーやチームの状況、ニーズに応じて適切な支援をすることが必要です。

また、残念ながらバスケットボール界においては、指導現場における様々な問題（暴力・暴言・ハラスメント等）があるのも事実であり、そういった意味でもバスケットボールの知識だけではなく、人間力を備えたコーチの養成が求められています。

このような現状の課題を解決し、よりよいコーチを数多く養成していくために、2019年度よりコーチライセンス制度の改定を行います。



主な改定内容

① ライセンス区分の再設定とカリキュラムの見直し

指導対象レベルや年齢によるライセンス区分を再設定し、指導対象によって求められるコーチの行動や能力に合わせたカリキュラム構成に変更

② E級eラーニングの導入



コーチとして最低限身に付けておくべきことをより学びやすくするために新E級を設置し、eラーニング方式の受講に変更
(E-1級・E-2級⇒E級に一本化)

③ E級永年制の廃止 & リフレッシュポイントの見直し

技術・戦術、指導方法等の変化に対応し、プレーヤーの安心・安全を確保するためにE級永年制を撤廃（E級の有効期間は4年間に）
コーチが常に学び続けることを促進するために、ライセンス別に必要なリフレッシュポイントを設定（2023年度より適用）

④ C級コーチ養成講習会の開催

ライセンス区分とカリキュラムの見直しに応じ、C級コーチ養成講習会を集合講習にて開催
(日本スポーツ協会の制度改定にも対応)

⑤ A級・B級コーチ養成講習会の再編

日本スポーツ協会との登録管理・窓口一本化に伴い、共通科目・専門科目を一体的に実施
(B級では集合講習日数を短縮して取得可能に)

⑥ コーチデベロッパーの養成

知識や技術・戦術の指導力だけではなく、人間力を兼ね備えた指導者を養成するための人材を養成
(C級・D級コーチ養成講習会の講師を担当)

⑦ キッズインストラクターの新設

まだバスケットボールに触れていない子どもたちからだを動かすことの楽しさを伝えることができるカリキュラムを作成し、それを実施できる人材を養成

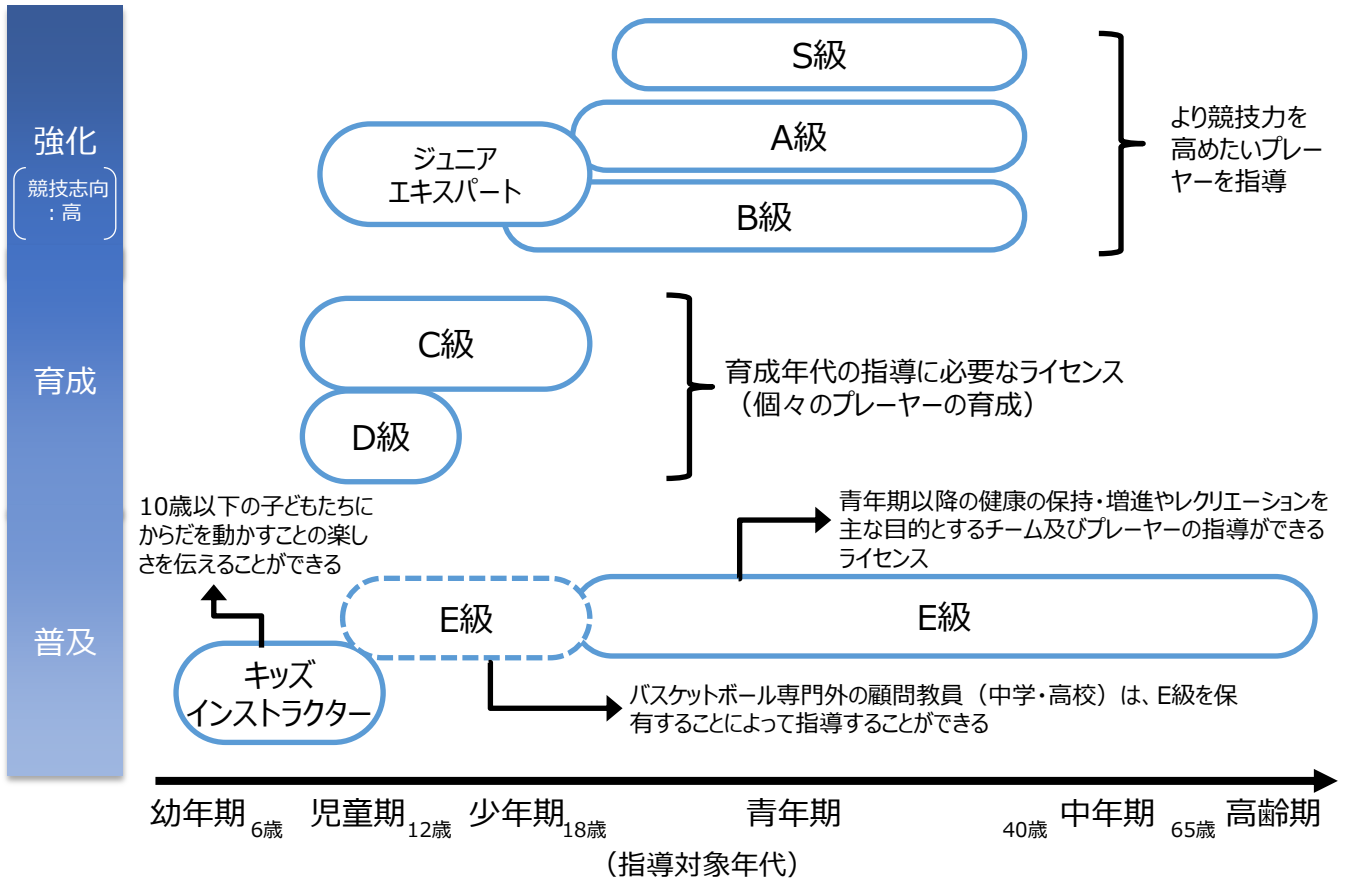


⑧ ジュニアエキスパートの新設

育成環境を充実（個人の将来性を重視）するために育成世代に特化したライセンスを新設
⇒スクールやU15・U18のクラブチームのコーチや育成センターのコーチ等に対応



新ライセンス体系（指導対象と必要なライセンス区分）



各ライセンスの概要

| | E級コーチ | D級コーチ | C級コーチ | B級コーチ | A級コーチ | S級コーチ | ジュニアエキスパート | キッズインストラクター |
|-----------------|----------|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------|-------------------------|-------------|
| 講習会開催団体 | JBA | 都道府県協会 | 都道府県協会 | JBA | JBA | JBA | JBA | JBA |
| 開催頻度 (年) | 随時 | 1回以上 | 1回以上 | 1回以上 | 1回以上 | 1回 | 1回以上 | 1回以上 |
| 受講条件 (※1) | 15歳以上 | E級保有者 18歳以上 | D級保有者 18歳以上 | C級保有者 22歳以上 | B級保有者 22歳以上 | A級保有者 22歳以上 | B級保有者 22歳以上 | 15歳以上 |
| 講習時間 | (eラーニング) | 13.5時間 (2日程度) | 20時間 (3日程度) | 5日程度 | 8日程度 | ※4 | 8日程度 | 半日程度 |
| 受講料 | 2,160円 | 12,960円 | 16,200円 | 43,200円 | 54,000円 | 270,000円 | 86,400円 | 2,160円 |
| 受講有効期間 | ※3 | 2年 | 2年 | 1年 | 1年 | ※4 | 1年 | 1年 |
| 登録料/年 (※2) | 1,000円 | 3,000円 | 4,000円 (1,500円) | 5,000円 (2,500円) | 6,000円 (3,500円) | 12,500円 (10,000円) | S級～B級登録料 +5,000円 | - |
| 資格有効期間 | 4年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 5年 |
| 更新に必要なポイント | - | 2ポイント | 4ポイント | 6ポイント | 8ポイント | 8ポイント | S級～B級の必要ポイント +別途研修受講 | - |
| 日本スポーツ協会における資格名 | - | - | コーチ1 | コーチ3 | コーチ4 | コーチ4 | - | - |

(※1) 年齢は受講年度の4/1現在。S～B級以上の受講条件の詳細は別途定める。(※3) eラーニングの受講有効期間はeラーニングシステムに合わせて調整中。

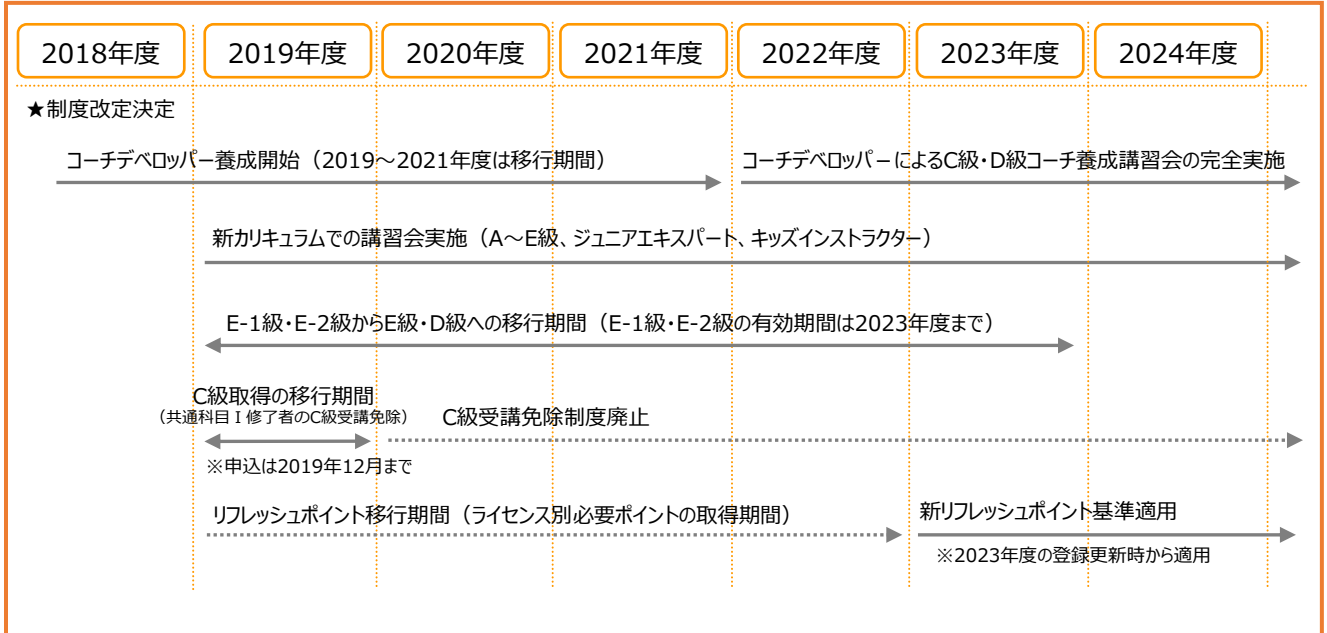
(※2) E級のみ4年分。C～S級は日本スポーツ協会分を含む金額表示であり、2020年度までは () 内の金額をJBAにて徴収。

(※4) S級コーチの講習時間、受講有効期間は検討中。



改定スケジュール

コーチライセンス制度改定の内容は、以下のスケジュールで導入を進めていきます。



主な移行措置

◆ E-1級・E-2級から新E級への一本化について

- ▶ 2018年度までに受講・取得したE-1級・E-2級の有効期限は2023年度までとなります。
- ▶ E-1級取得者が、新D級コーチ養成講習会を受講する場合、カリキュラムの一部（半日分）が免除されます。
- ▶ 新E級のeラーニングを受講することで、2024年度以降もE級ライセンスを保有することができます。（E級ライセンスの有効期間は4年間です。eラーニングを再受講することにより、E級を再取得（継続）することも可能です。）

→詳細は「新E級の導入とE-1級・E-2級の移行措置について」参照

◆ C級コーチライセンスの取得について

- ▶ 「共通科目Ⅰ修了者」（スポーツリーダー、スポーツ少年団認定員、日本スポーツ協会が定める大学・専門学校等の免除適用コース修了者等）は、2019年まではD級コーチ取得後、所定の手続きのみでC級コーチを取得することが可能です。

→詳細は「C級コーチライセンスの取得方法について」参照

◆ 新リフレッシュポイントの適用について

- ▶ 2023年度から新リフレッシュポイント基準が適用されます。2023年度のライセンス更新時には新ポイント基準が適用されますので、それまでに必要なポイントの取得を行ってください。（リフレッシュポイントの有効期間は現行通り4年間です。）
- ▶ 2019年度～2022年度のライセンス更新時には現行の基準（ライセンスに関わらず2ポイント）が適用されます。
- ▶ 2020年度からはeラーニングによるリフレッシュ研修コースも開講予定です。



新E級の導入とE-1級・E-2級の移行措置について

◆ 新E級導入の趣旨

- ▶ ライセンス区分の再設定に伴い、コーチの入門という観点からコーチにとって必要最低限の内容を身に付けるものとして新E級のカリキュラムを構成（育成世代〈U12・U15・U18〉では、E級をステップとして、D級・C級の取得を推進）
- ▶ ライセンスを取得しやすくするため、eラーニング制度を導入
- ▶ 技術・戦術、指導方法の変化に対応できるようにすること、プレーヤーの安心・安全を確保することを目的に永年制を撤廃し、資格の有効期限を4年間に変更

◆ E-2・E-1級取得者の移行措置

【1】有効期限

2018年度までにE-1級・E-2級を取得した方（受講済で未登録の方を含む）は、制度改定に伴い、有効期限は一律2023年度までとなります。

対象の方は2023年度までにD級以上のコーチライセンスを取得していただきますようお願いいたします。（※）

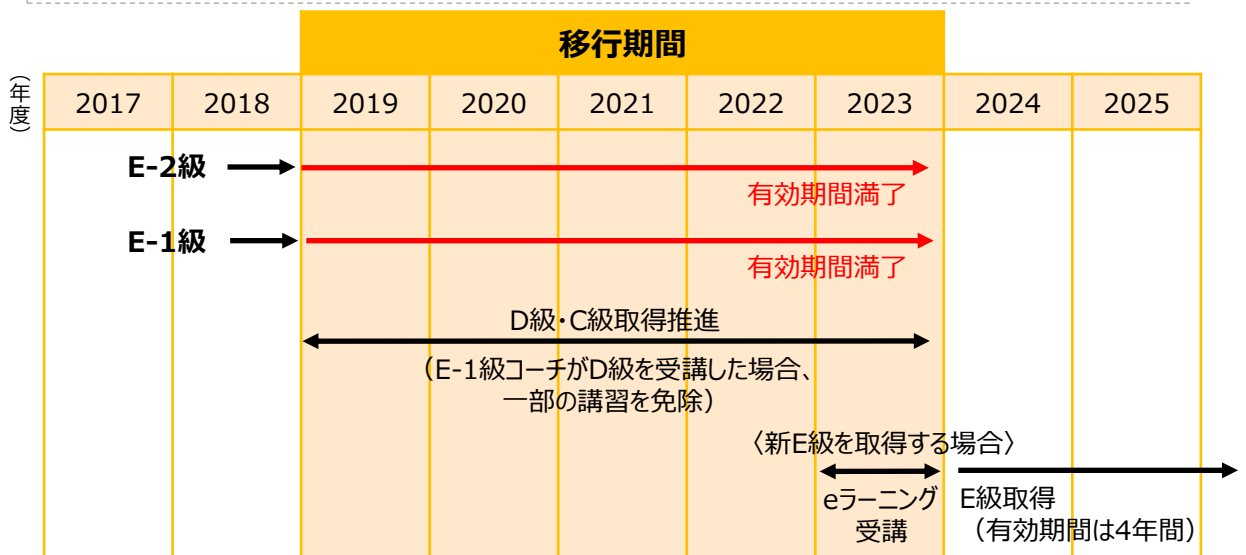
- （※）中学・高校のバスケットボール専門外の部活動顧問（教員）については、教員としての基本的知識や指導技術等を有していることからE級でも指導することを可能とします。（ただし、出場する大会によってコーチのライセンス基準が定められている場合には定められたライセンスが必要になります。）
また、一般カテゴリーで健康の保持・増進やレクリエーションを主な目的とするチームやプレーヤーのコーチは、E級でも大会（普及レベルの地区大会等）への参加が可能となります。
E級を継続する場合には、2023年度にeラーニングを受講してください。

【2】D級コーチ養成講習会受講時の一部免除（対象はE-1級のみ）

E-1級はE-2級の内容に加えて実技講習も受講済であることから、2023年度までの移行期間においては、D級受講時に一部のカリキュラムが免除されます。

＜D級コーチ養成講習会の一部免除措置について＞

- ▶ E-1級コーチがD級講習会を受講する際には、D級講習会の次の3つの内容が免除となります。
「バスケットボールにつながるウォームアップ」（1.5時間）
「得点する技術①」（1.5時間） 「一日の振り返り」（0.5時間）
合計3.5時間 ※D級2日間のうち、約半日分
- ▶ この免除措置は2023年度まで有効となります。
- ▶ この措置における受講料は、9,720円（税込）となります。





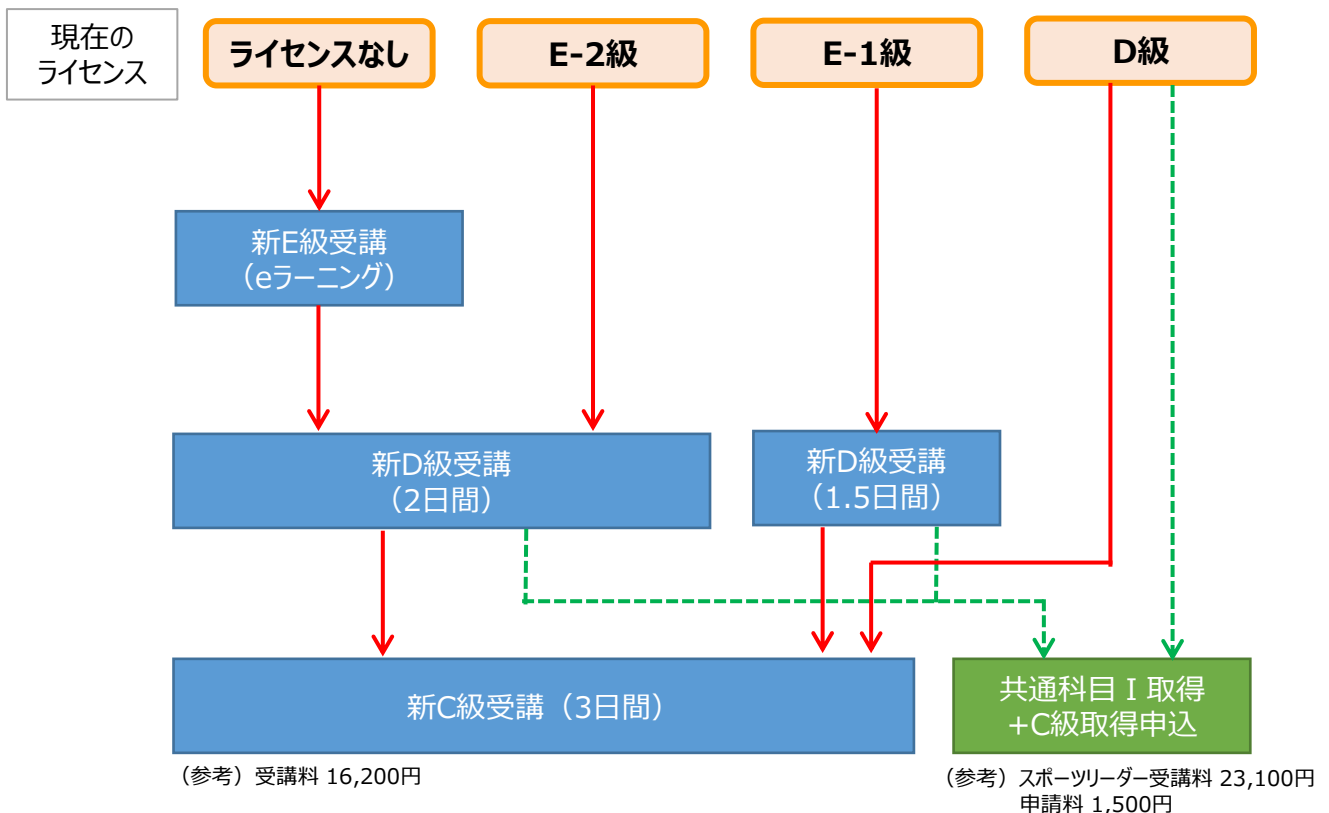
C級コーチライセンスの取得方法について

A級～C級以上のコーチライセンスは日本スポーツ協会との協同認定資格であることから、これまでは「共通科目」と「専門科目」の講習会がそれぞれ別々に開催されていました。

2018年度からバスケットボールのコーチライセンスに関する登録管理・窓口をJBAと日本スポーツ協会の二本立てからJBAに一本化したことから、今回の制度改定により、共通科目・専門科目を一体的に実施することになりました。

これまではD級コーチ取得後、通信教育等で「共通科目 I」を修了し、C級コーチを取得することになっていましたが、制度改定により、新たに「C級コーチ養成講習会」を開講いたします。

ただし、移行措置として2019年12月まで「共通科目 I」の修了による免除申請を認めます。



◆C級取得の申込手続きは
2019年12月未まで

【補足】

▶ 共通科目 I を取得する場合、NHK学園のスポーツリーダーを受講・修了してください。

なお、2019年12月までにC級取得申込をする場合、冬期コース（申込受付：2018/11/1～2019/1/25）または春期コース（申込受付：2019/2/1～4/25）の受講が必要です。

▶ D級コーチ養成講習会受講前でもスポーツリーダーの受講申込は可能です。

▶ 次の①～③のいずれかに該当する場合は、スポーツリーダーを受講せずにC級取得申込をすることができます。

- ①スポーツ少年団「認定員」資格を取得した場合（認定証を持っている場合）
- ②大学や専門学校の免除適応コースで「共通科目 I 修了証明書」を持っている場合
- ③他競技の「指導員」資格を持っている場合



その他特記事項

✓指導対象年代別にライセンス区分を再設計したため、各大会におけるコーチライセンスの要件（基準）も今後見直しされます。（現在検討中）

✓新カリキュラムの各講習会（eラーニング除く）は、これまでの知識伝達型／一方向的な講習から、受講者参加型／双方向的な講習に変わります。また、各講習会ではワークブックを用いて講習を行います。（事前課題に取り組んだ上で講習に参加いただくことになります。）

✓コーチライセンスを持っていない場合は、E級→D級→C級→B級→A級→S級と順番に受講・取得していくことになります。

なお、ジュニアエキスパートはB級以上のライセンスを持っていることが受講・取得条件となります。

また、キッズインストラクターはコーチライセンスを持っていない場合でも受講することができます。



よくある質問

Q：E級のeラーニングはいつから受講できますか。また、受講後すぐにE級を取得できますか。

A：2019年4月から受講可能となる予定です。

また、eラーニング受講後、試験に合格すれば、その後2日程度でE級の取得（登録）ができるようになる見込みです。

Q：E級ライセンスを継続するためにはどうすればよいですか。

A：E級eラーニングを受講することでE級を継続することが可能になります。

（eラーニングの内容は2年に1回程度更新予定です。）

Q：キッズインストラクターはだれでも受講できるのですか。

A：受講年度の4/1現在で15歳以上であれば受講することができます。

他のコーチライセンスを取得している必要はありません。

Q：キッズインストラクターの資格を取ればU12（ミニ）のチームの指導ができますか。

A：キッズインストラクターはチームを指導するための資格ではありません。キッズインストラクター講習会では保育園・幼稚園・小学校の訪問やキッズ向けイベントなどで子どもたちを夢中にさせるメニューや展開方法が学んでいただけます。

Q：B級コーチを取得したい場合はどうしたらよいですか。

A：B級コーチの受講は都道府県協会の推薦が必要となるため、所属の都道府県に受講希望の旨をご連絡ください。